

主な内容

- 2面 医科歯科セミナー参加報告
- 3面 日刊新聞拾い読み
- 4面 診察室の窓から

# 香川県保険医協会会報

発行所  
**香川県保険医協会**  
 〒760-0057 高松市旅籠町14番地8  
 TEL 087(802)1335  
 FAX 087(802)1336  
 e-mail:kkyoukai@kagawahik.com  
 発行人 **太田展生**

定価200円(会員の購読料は会費に含まれています)

## 新型コロナウイルス感染症 医療現場からの声

### コロナ禍の今こそ 質の高い医療を

高松市 原田 真吾

当院では高松市保健所から依頼のあった方に限り、コロナウイルスのPCR検査を行っています。しかし、検査で陰性だからよかったですね、では済まない患者さんが多くいます。

診断面では、一般的な細菌性肺炎や非定型肺炎であるマイコプラズマのような他の呼吸器感染症で治療が必要だったり、扁桃炎や胆管炎のような呼吸器感染症でない有熱疾患だったり、他院では肺結核が最終的に診断さ

れたこともあるそうです。この時期に発熱や呼吸困難があるとしてがコロナウイルス感染症と結びつけられるため、質の高い診療をいかに保つかが大事です。「コロナの時期だから見逃してしまいたくないよね」では済みません。

患者側としては、なんらかの体調不良や県外移動歴や接客業などの他者との接触歴がある人が検査の対象となるため、その後の症状が改善しない限り、本人としては

「本当はコロナウイルスに感染しているのではないかと疑心暗鬼になり、受診や電話相談が続くこともありま。巷では「コロナうつ」とも称されているようですが、一定の心理的ストレスを元に身体の不調をきたします。ネットでは五月病とよく似ており、独居など社会的に孤立している人の方が陥りやすいとのこと。

ある四〇歳代の方、1ヶ月も前に県外へ行ったことが不安になり、微熱や倦怠感症状が取れないとのこと。コロナウイルス検査を保健所に頼みこんだところ、当院を指定され受診、PCR検査しましたが陰性。抗生剤や解熱剤を処方するも、その後も不安感にかられ、受診が続い

### 新型コロナウイルスへの 歯科医院での対応

高松市 小野 耕資

昨年末から中国湖北省武漢から発生したといわれる新型コロナウイルス、19いわゆる新型コロナウイルスが蔓延して数カ月が経過しました。歯科医院では診療、運営に神経を使っています。歯科治療は患者さんの口腔に顔を近づけ覗き込む作業がどうしても

も必要になります。治療中に咳き込んだり、おせる方もいます。ネットで歯科医師、歯科衛生士が新型コロナウイルス感染するリスクが高いと喧伝されました。当院でも窓を開けての換気、口腔外パキューム、空気清浄機数台の使用、ドアノブのアルコー

ル清拭、患者さん毎のスピットン、チェア、ライトハンドルの清拭、ヘッドレストカバーの交換、患者さんの治療前の検温、消毒薬での含嗽など感染防御策を徹底しています。

最近、患者さんを診察、治療する際必要なサージカルマスク、フェイスシールド、グローブが品薄です。また、患者用紙エプロン、ヘッドレストカバー、消毒用エタノール、アルコール綿、手指消毒用エタノール剤も買えず、どの診療所も苦労しています。

メーカーや薬品ディーラーにお願いして注文しても買えるかどうかわからないが一応注文はかけてみますが、とお答え、注文がきても納品まで数週間から数か月かかるかの返答が来ます。

今も続く新型コロナウイルス感染症、多くの犠牲と多くの教訓を私たちにもたらしていると言えそうです。改めてスタンダードプロシジョンの大切さを再認識するこの頃です。

### 【告示】第39回定期総会 開催のご案内

- 【日時】 2020年6月21日(日) 13:00~14:00
- 【場所】 香川県社会福祉総合センター 高松市番町1丁目10-35
- 総会 13:00~14:00
- 一、2019年度活動報告
  - 一、2019年度決算報告・監査報告
  - 一、2020年度活動方針(案)
  - 一、2020年度予算(案)
  - 一、採択
  - 一、役員選出
  - 一、決議採択



強く負担がのしかかっています。弱いものの不安を敏感にキャッチし、いかに質高く、そして、患者さんの受療権が侵害されないように診療を続けています。

「コロナ禍といわれる未曾有の大災害。誰にでも平等に被害がふりかかるのではなく、心身の弱いもの、社会的・経済的に弱いものにより

ら商品がないこの時期になぜ在庫があるのか不思議です。

また、有志の方から医療機関へという事で当院へマスクを寄贈して頂きました。大変ありがたく嬉しかったです。

### 日々雑感

緊急事態特定警戒5県 含め、39県宣言解除された。2020年が明けた時、誰がこんな日本、世界を想像しただろう。見えない敵、新型コロナウイルス感染症に人々は奮え、社会は身動きできず、経済は沈み込んでいく。感染者急増を受け、全国47都道府県に緊急事態宣言が発令された。首相が記者会見に臨み、感染爆発を防ぐため不要不急の外出自粛などへの協力を国民に呼びかけた。ベッドは足りるか、マスクや消毒は十分か。院内感染は発生していないか、緊張が続く。国立国際医療研究センター病院の医師の話も聞いてみると身の毛がよだつ。話ができていた人が、わずか数時間で酸素が不足し、人工呼吸器が必要になるほど悪化する。厳しい語り口、ただならぬ事態だと認識する。この病気の怖さは8割の人が軽症であることだ、とも指摘した。いつか終わりが来ると信じ、医師の言葉に従い、もうしばらく身を慎もう。解除地域では感染防止策を徹底しつつ、社会経済活動を本格的に再開させることになる。宣言の解除は安全宣言ではないのだから…。心待ちにしていた東京五輪・パラリンピックも延期になった。今は戦争ではないが、平和でもない。「安倍のマスクの小さな鎧(アベノミスク)を着けて、日本人らしく毅然とこの危機と戦うしかない。安心して、くしゃみのできたあの日に帰ろう。一人ひとりの力で。(も)

歯科セミナー

「補綴装置の現状と未来」を開催

2020年3月8日(日) 9時30分～12時30分まで



テルマリンパレスさぬきにおいて、「補綴装置の現状と未来」と題しての講演会が... 講師に徳島大学病院医療技術部歯科医療技術部門技士の鴨井浩平先生をお招きしました。

先生によりますと「元来、補綴臨床における歯冠修復物、有床義歯、インプラント上部構造、顎顔面補綴装置といった補綴装置は、SOBの分類に則した生体材料を用いて作製され、長年国民の

QOL改善や健康増進のために利用されてきました。口腔内という劣悪環境に耐える機械的、化学的強度や、対摩耗性だけでなく、患者の求める機能的、審美的欲求などのQOLに準じて、歯科

医師と歯科技士が協議し、補綴装置を構成する材料を決めており、時代によって主流となる材料は変転しています。特に歯冠修復物においては、元来金属を使用することが主流でしたが、近年金属の価格高騰、CAD/CAM機器の普及、患者の審美的要求の増大により、セラミックス、特にジルコニアに

注目が集まり、さまざまな企業から新たな材料が開発され、多く施術されています。しかしその歴史はまだ浅く、口腔内において継続的にどのような影響を与えるかは未だ試行段階です。

歯科医療におけるCAD/CAM機器をはじめとするデジタル機器の普及は、新たな歯科医療の提供を可能にし、補綴装置のトレーサビリティの確保や労働生産性の向上にも寄与しており、デジタル機器を利用した補綴装置の作製は今後も増加傾向になることが予想されます。それに伴い、新たな材料

もさらに新規導入されることと予想されますが、かつての材料、そしていわゆる従来のアナログ技術で作製される補綴装置は淘汰されていくのでしょうか。

講演は補綴装置の材料学として1. 金属 2. CAD/CAM 3. ガラスセラミック 4. ジルコニア について、分類、特徴、

臨床経過、利点欠点、生存率等、また生体に調和する材料などについても深い内容を分かりやすく説明していただきました。5. アナログとCAD/CAM デジタル医療の現状としてトレーサビリティ、光学印象、適合精度についての詳しい解説がありました。アナログとデジタル技術の融合により新

たな歯科医療の提供が行われ、デジタル技術を活用したビッグデータの作成と共有により国民のQOL改善と健康増進に寄与します。質疑応答では活発な意見交換があり、非常に有意義な講演会でした。

(高松市 宮脇守男)

主張

新型コロナ感染症流行による「医療崩壊」を防ぐために

4月7日に7都府県に発令された「緊急事態宣言」は、対象が全国に広げられた後、5月15日に香川県など39県が解除されました。これからの医療体制に求められる問題点を考えてみます。

新型コロナ感染症の新規患者は減少しています。しかし、これまでのPCR検査数が十分に少ないため、現状が十分把握できていません。抗体検査をはじめ様々な検査法が開発されていま

すから、感染の拡がりを明確にする必要があります。

今後起きるかもしれない爆発的流行に備え、PCR検査などが、医師の判断により速やかに行えるよう体制の整備が必要です。検体採取に危険を伴う場合の検査場所の確保や必要物品の備蓄なども重要です。地域により異なりますが、発熱外来などの整備も検討課題です。

陽性患者の家族内感染を防ぐため、ホテルや施設などで一定期間隔離が可能な体制も重要です。

入院患者の振り分けも大事で、各病院の専門性、検査器械、個室数など難しい問題はありますが、今ある「調整会議」を活用し、重症度に応じた入院体制の準備が必要です。

市中にはマスク等が流通し始めていますが、臨床現場ではマスク、フェイスガード、エプロン、消毒用物品などが不足しています。多くの医療機関で、使い捨てのマスクを何日も使用する、洗って再利用するなどの例もあります。感染者対応時に必須のN95マスクも繰り返し使用するなど、やむを得

ず本来の使用法とは異なる対応をしている実態もあります。

必要な物品が医療機関に届けられるように、政府・自治体に求めるものです。

今後とも協会として、現状を把握し必要な提言を行う予定です。

令和2年度指導対象保険医療機関(医科・歯科)の選定 (四国厚生支局の行政文書開示内容より抜粋)

Table with columns: 個別 指導平均点数・対象点数・指導予定数 一覧. Rows include 病院 (General, Mental, University, Small), 診療所 (Internal, Neurology, Pediatrics, Surgery, etc.), and 歯科 (Dentistry).

※対象機関の選定内訳
①情報提供等により個別指導が必要な保険医療機関
②前年度の指導結果が「再指導」であった保険医療機関
③前年度指導対象であったが、未実施の保険医療機関
④高点数保険医療機関
指導対象保険医療機関数 合計

助成金制度・融資制度の概要

新型コロナウイルス感染症による 医院経営への影響で困った時は

新型コロナウイルス感染症の拡大が医療機関の診療と経営に打撃的な影響を与えています。国民の健康を守るためにも、医師・歯科医師やスタッフの生活を守るためにも、感染症拡大の影響で医院経営が脅かされることはあってはなりません。

経営維持に使うことができる助成制度や融資制度などの概要まとめました。状況に応じて、ご活用を検討ください。

- \*新型コロナウイルスの影響に関わる助成制度などは日々変わっています。最新の情報はホームページなどでご確認ください。
\*国等による制度の他、地方自治体が独自に休業補償や助成をしている場合もあります。所在地の自治体の情報もご確認ください。

Q. 診療収入が維持できず、職員への給与の支払いも困難です。このままでは解雇せざるを得なくなりますが、どうしたらよいでしょうか。
A. 雇用維持のため、「雇用調整助成金」の特例措置により賃金の支払いに対して助成を受けることができます。

診療収入等が前年同月比で5%以上減少しており、一定以上の規模で計画的に、休業手当を支払って従業員を休業させた場合に、8,330円を上限に賃金相当額の4/5が助成されます。解雇を行っていない等の一定の要件を満たす場合には、9/10が助成されます。

Table with 2 columns: 雇用調整助成金 緊急対応期間中の特例(中小企業の場合) and 助成内容. Includes details on eligibility, amount, and application process.

Q. 診療収入が大きく減少しています。経費全般に充当できる支援制度などはありますか。
A. 「持続化給付金」により法人200万円、個人100万円の給付を受けることができます。

Table with 2 columns: 持続化給付金(詳細は未定) and 要件. Lists conditions for receiving the grant.

Q. 資金繰りが悪化して困っています。運転資金などで活用できる融資制度などはありますか。
A. 日本政策金融公庫や独立行政法人福祉医療機構が有利な特別融資を実施しています。また、借入にあたっては信用保証協会による特別の保証を受けることができる制度があります。

日刊新聞拾い読み(四月)

四月に入っても「新型コロナウイルス」感染拡大治まらず、連日各紙報道記事も「新型コロナウイルス」について大きく取り上げています。

日医 危機的状況宣言 (4月2日朝日)

新型コロナウイルスの感染拡大で国内の医療現場が危機的状況にあるとして、日本医師会(日医)は、「医療危機的状況宣言」を発表、政府に対して特別措置法に基づき緊急事態宣言を出すよう求めた。横倉義武会長は

「欧米は2週間で医療崩壊になった。油断すると取りかねない」と語った。

新型コロナ 医療者151人感染 (4月5日毎日)
新型コロナの感染者のうち、医師や看護師ら医療従事者は全国で少なくとも151人いることが分かった。診察などを通じて感染者と機会が多いことが背景にあるとみられる。

緊急事態宣言 全国拡大 (4月17日各紙)
安倍首相は、新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づき、緊急事態宣言の対象区域を全国に拡大。各地で感染者が増え、人の移動で感染が広がっていることを理由に挙げている。所得制限を設けず国民に一律10万円を給付することを表明した。

記事の中で主だった記事を取り上げました。感染防止のため政府は、「3密(密集、密閉、密接)を避けて外出自粛、休校、休業要請を行なっています。私たち診療者から見ますと「新型コロナウイルス」感染を判定するPCR検査を必要の人に行い迅速に診断することが必要であり国民に安心感をもたらすと思えます。検査体制の諸事情もあると思いますが診断治療には早期診断が有効です。PCR検査の拡充が急がれます。(次号につづく)

欧州危機の医療現場 (4月4日読売)
新型コロナウイルス感染者は世界全体で100万人を超え、イタリアでは11万人あまりの感染者のうち医療スタッフは約10%を占め、4月1日までに67人の医師が死亡した。感染者11万人のスペインでは、感染者に占める医療スタッフの割合は12%以上(約1割)。

県内新たに11人感染 (4月14日四国)
香川県と高松市は13日、同市の男女11人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

このうち12日に保育士3人の感染が判明した同市の保育所では新たに女性保育士8人が感染。同園の感染者は11人となり県は初のクラスター(感染者集団)が発生したと断定した。

(東かがわ市 三木登志也)

Insurance doctor pension application advertisement. Includes title '保険医年金 受付中', application deadline '6月25日まで', interest rate '1.259%', and application details.



# 理事会だより

## 4月理事会

※新型コロナウイルス感染症対策により理事長・副理事長会議とした

「ストップ患者負担増」署名の集約状況が報告された

新型コロナウイルス「会員緊急アンケート」実施と声明発出を確認した

協会事務局のコロナ感染対策を協議し交代で在宅勤務を実施する

協会組織、共済募集の取組みについて報告された

保団連代議員会、休保共済会社員総会は中止、専門部会は電話、WEB会議開催

150回ブロック会議はWEB会議で開催。151回ブロック会議は開催方法について検討中

ブロック医師歯科医師交流会、ブロック医療活動交流会は中止となる

第39回定期総会は日時・6月21日(日)13:00~14:00、会場は社会福祉総合センターで確認

協会ロゴ、パソコン機器購入の提案がされた

## 協会活動日誌

### 4月

5日(日) 保団連新聞部会 (Web参加)  
10日(金) 歯科部会(協会事務局)

## あとがき

11日(土) 保団連Q&A編集会議(Web参加)  
19日(日) 保団連医科2次検討会(Web参加)  
23日(木) 理事会(協会事務所)

5月に入り全国すべての人に一律10万円を配る『特別定額給付金』の申請が始まったが、高松市は5月19日、オンラインでの申請を25日から中止すると発表された。

高松市は5月1日からマイナンバーカードを使ったオンライン申請を受け付けたが、同日受け付けた申請の5割以上に不備があり、

○法律相談 要予約  
 弁護士 平井功祥先生  
 日時 6月4日(木) 午後2時~3時半  
 場所 平井法律事務所 (高松市丸の内7-17)  
 ※事前に保険医協会へお申し込み下さい。  
 ※相談時間はお一人30分程度です。  
 ※30分の相談は無料ですが、その後は弁護士とご相談下さい。

○税務相談 要予約  
 日時 6月11日(木) 午後2時~3時半  
 場所 佐藤克哉税理士事務所 (高松市上福岡町758-8)  
 ※事前に保険医協会へお申し込み下さい。  
 ※相談時間はお一人30分程度です。  
 ※30分の相談は無料ですが、その後は税理士とご相談下さい。  
 ※税務調査のご相談は協会まで



# 窓から青空が見えますか？

普通寺市 西川 清

フェイスシールドを付け、窓の外を見る。空はまるで青く、換気のため開け放った窓を吹き抜ける風は、まさに5月。そんな春真っ盛りでも、駐車場に車はなく、もちろん待合室には患者もいない。医師生活40数年のキャリアの最後にまさかこんなパンデミックに巻き込まれるとは。

クリニックでも小児科のほか呼吸器アレルギーを標榜していることから、成人の発熱、呼吸器症状のある患者がやってくる。その中でこれはという症状があつて、PCR検査を依頼した症例はこれまでに5件である。

高熱と咳、倦怠感あり。検査されず。  
・高知から里帰りした乳児。4-5日の高熱と咳。保健所に連絡するもかかりつけ医でいいと言われた。風邪薬で様子見。高知でクラスターがあつた直後なので、診察に大いに不安。  
・高熱4日咳、息苦しさある40歳女性、保健所から感染外来に紹介。肺炎あり。ようやく初めてしていただいたPCR検査は陰性。  
・休校中に微熱が2週間続く14歳女兒、診察と検査依

頼るも連絡返答なし。  
・関東から野球留学で3月末にやってきた16歳高校生。直後から高熱が10日以上続き、感染外来に紹介、PCR検査陰性も肝機能障害が残り、運動不能。EBウイルス感染症なども考えられた。引き続き経過観察中。

わが息子は感染患者の多い大阪の大病院で呼吸器内科に所属し、4月初めから新型コロナウイルスの重症患者を担当している。治療はアビガン中心でほぼ改善するが、人工呼吸器が長くなる患者では陰性になっても、最上元の状態には戻らず気管切開をする患者もいるとか。目に見えぬウイルスとの戦いは、怖さと煩わしさの繰り返しである。好きなゴルフにも行けぬ。この状況からいつ解放されるのか。窓の外はそんなウイルスに翻弄される人間をあざ笑つかのよつに、これでもかの五月晴れが続いている。

# 新刊書籍のご案内

<p><b>【歯科】保険診療の研究</b> 2020年4月版</p> <p>開業医会員には1冊無料でお送りします</p> <p>定価 8,000円 会員価格 4,000円</p>	<p><b>保険診療便覧</b> 2020年4月版</p> <p>定価 4,950円 会員価格 3,200円</p>	<p><b>薬価基準点数早見表</b> 令和2年4月版</p> <p>定価 3,600円 会員価格 2,200円</p>
---	--	--